

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	935.15	2022/8/8
High	977.00	2022/8/11
Low	924.00	2022/8/8
Close	964.00	2022/8/12

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4063.00	2022/8/8
High	4150.00	2022/8/11
Low	4003.00	2022/8/10
Close	4137.00	2022/8/12

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2131.00	2022/8/8
High	2301.00	2022/8/11
Low	2122.00	2022/8/8
Close	2216.00	2022/8/12

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9278.00	2022/8/8
High	9819.00	2022/8/9
Low	9226.00	2022/8/8
Close	9515.00	2022/8/12



ニュースエクスプレス

シバニェ・スティルウォーター、米鉱山の洪水を受けて、PGM 生産目標を2027年に先送り

シバニェ・スティルウォーターは、米モンタナ州のスティルウォーター鉱山が、6月に起こった200年に一度と言われるほどの大規模な洪水によって7週間の閉山に追い込まれたことを受けて、パラジウムの生産目標を大幅に下方修正すると発表した。

投資家に向けて8月11日にオンラインにて行われた発表では、CEOの Neal Fronemanはまた、世界経済の停滞を引き起こしている様々な要因とパラジウム市場の下落に対応して、スティルウォーター鉱山の経営の中期的な見直しをおこなっているとした。

その主な決定事項として、スティルウォーター鉱山の2E (プラチナとパラジウム) PGM生産を 21.8トンに増やす計画は2027年まで先延ばしされた。

スティルウォーター鉱山の2022年のPGM 生産は、当初の17.1トン~18.0トンという目標から19%低い13.8トン~14.3トンとなるとされる。

この結果2022年全体の総コスト(AISC) は、2021年の総コスト平均1004ドル/オンスから40%増えて、1380ドル/オンス~1425ドル/オンスとなる。Froneman氏は、中期から長期の総コストは 950ドル/オンス~990ドル/オンスの間に落ち着くとしている。

<https://www.miningmx.com/top-story/50430-sibanye-stillwater-pushes-out-pgm-target-at-us-mine-to-2027-following-floods/>

6月の鉱山生産、鉱物販売は減少

南ア統計局(Stats SA)の発表によると、6月の鉱山生産は前年比マイナス8%。最も減少が大きかったのはゴールド (-28.6%、全体を4.7%押し下げ)、次にPGM(-9.8%で、全体を2.4%押し下げ)、そして石炭(-6%で、全体を1.6%押し下げ)となった。

時価による6月の鉱物販売は前年比マイナス6.1%。

最も減少が大きかったのはPGM (-30.8%で全体を12.8%押し下げ)、次にゴールド (-54.4%で、全体を7.9%押し下げ)、そして鉄鉱石 (-22.5%で全体を3.4%押し下げ)となった。

<https://www.miningweekly.com/article/mining-production-mineral-sales-decrease-in-june-2022-08-11>

NY白金、1カ月半ぶり高値 景気悪化後退で消費回復期待

プラチナ(白金)相場が上昇している。国際指標のニューヨーク先物は8日、一時1トロイオンス948.8ドルと1カ月半ぶり高値をつけた。直近安値の7月中旬と比較して15%高い。前週発表の7月の米雇用統計が堅調な内容だったことなどを受け、過度の景気悪化懸念が一服して産業用需要が多い白金価格を押し上げた。

白金はディーゼル車などの排ガス浄化触媒向けが主用途だ。市場で景気後退懸念がやや和らぎ、欧米株も反発基調で推移している。市場の投資家心理が改善し、消費者による自動車などの購買意欲が回復するとの見方から買いが優勢となった。

同じ貴金属に属する金(ゴールド)価格の上昇も追い風だ。ユーロなど主要通貨に対するドルの強さを示すドル指数が下落しており、ドルの値動きと逆相関しやすい金には買いが入っている。そのため「米国株や金の上昇といった好材料が続けば、白金は一段高を試しうる」(楽天証券経済研究所の吉田哲コメディティアナリスト)との見方があった。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB09A350Z00C22A800000/?unlock=1>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- アメリカン・イーグル・プラチナ地金型1オンスコインの2022年のこれまでの販売が過去2番目に多い7万9000オンスとなる中、セントヘレナ財務局と東インド会社は「セントヘレナ・クイーンズ・パーチューズ(美德)」シリーズ2番目となるプラチナ地金型コインを発表した。詳しくはプラチナ豆知識「プラチナの美德」(2022年8月10日)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/08/10?page=1&term=&category=>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。